




すてい~る

SPECIAL STEEL

July/2003

目次

● 特集 (社)全日本特殊鋼流通協会「第7回定時総会」	
● 「第7回定時総会」	1
● 各支部の総会	5
● 平成14年度「特殊鋼販売技士1級」資格認定式開催	7
● 突然おじゃま 勝野政男 三和特殊鋼(株)・相談役	9
● 私の楽しみ 久木田一成 櫻井鋼鉄(株)・取締役社長	11
● 理事会・委員会報告	13
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



 社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

「第7回定時総会」



全特協は平成15年6月2日（月）東京都千代田区「パレスホテル」で約150名の出席を得て、第7回定時総会を開催しました。総会では、次の議案が承認されましたが、そのうち、中期計画（案）及び平成15年度の年会費（案）の概要等は、下記のとおりです。

- 第1号議案 平成14年度事業報告書（案）承認の件
- 第2号議案 平成14年度収支決算書（案）承認の件
- 第3号議案 中期計画（案）承認の件
- 第4号議案 平成15年度の年会費（案）承認の件
- 第5号議案 平成15年度事業計画書（案）承認の件
- 第6号議案 平成15年度収支予算書（案）承認の件
- 第7号議案 新任理事選任の件



また、総会で三上会長は「時代は量から質への転換が求められている。コスト意識を高めて適正利潤を確保して、健全な発展を目指そう。協会としては、特殊鋼流通に携わる人々が自信を持って働き、活力を見出せるような活動を推進したい」などと挨拶しました（詳細p2）。

総会後には、中国企業躍進の秘密と日本の中小企業はどうあるべきかを考える講演会「中国VS日本 中国の強みと日本の底力」（政策研究大学院大学教授・橋本久義氏）と懇談会を開催し、和やかな雰囲気の中に閉幕となりました（詳細p3～4）。

中期計画(案)について

03年度からの3カ年中期計画の基本方針は、団体のメリットを活用した事業の推進や、会員相互の密接な意見交換・連絡に対する支援、他業界との積極的な交流などです。主要な事業は、以下のとおりです。

(1) 人材育成事業

特殊鋼販売技士及び特殊鋼販売加工技士の有資格者の目標を1万3000人とする。
特殊鋼販売技士1級取得者に対するフォローアップ研修を行う（新規）。

(2) 調査研究事業

特殊鋼流通加工業の現状分析、将来像の模索等の調査研究を行う（新規）。

(3) 普及・啓発事業

会員相互の意見交換、連絡等を支援する事業を積極的に行う。
共同化・協業化を支援する事業を積極的に行う（共同配送、共同在庫、共同倉庫、社労士・弁護士等の共同利用等）。
「はがねの日（仮称）」の制定を検討し、平成16年度から実施する（新規）。
設立10周年記念事業（平成18年度に実施）の検討を開始する（新規）。

(4) 交流・協力事業

海外の交流・協力事業は、平成15年度はタイ、16年度は中国、17年度はマレーシア・シンガポール又は北欧と行う。
国内の交流・協力事業は、関連業界と積極的に行う。

平成15年度の年会費（案）について・・・年会費の10%を減額

1. 平成15年度の正会員の年会費及び賛助会員の年会費は、「入会、入会金、会費及び退会規則」の別表「会費基準表」(以下、基準表という。)に定める年会費に10分の9を乗じて得られる金額とする。
2. 正会員及び賛助会員は、平成15年度上期(4月～9月)分の会費として基準表の年会費の10分の5を乗じて得られる金額を、平成15年度下期(10月～翌年3月)分の会費として基準表の年会費の10分の4を乗じて得られる金額を納付するものとする。

(参考)平成15年度の年会費額

正会員		年会費		
従業員数	会費等規則(A)	平成15年度(B)	A-B	
1-5人	42,000円	37,800円	4,200円	
6-10人	60,000円	54,000円	6,000円	
11-20人	132,000円	118,800円	13,200円	
21-40人	216,000円	194,400円	21,600円	
41-99人	420,000円	378,000円	42,000円	
100人以上	720,000円	648,000円	72,000円	

賛助会員		A-B	
会費等規則(A)	平成15年度(B)	A-B	
加入1支部につき120,000円	108,000円	12,000円	

桑野啓始氏を新任理事に選任



山陽特殊製鋼(株)常務取締役
桑野 啓始氏

理事・梅井昭三氏(山陽特殊製鋼(株)顧問)が退任され、新任理事として山陽特殊製鋼(株)常務取締役・桑野啓始氏が選任されました。

会長あいさつ

～特殊鋼流通に携わる人々が自信を持ち活力を見出せるような活動を～



(社)全日本特殊鋼流通協会
会長 三上 聡彦

本日は会員の皆様、ご来賓の皆様には大変お忙しい中、社団法人全日本特殊鋼流通協会の第7回定時総会にご出席をいただきましてありがとうございます。

昨年の同じ6月2日、田島前会長の後を受けて会長に就任いたしました早いもの

でちょうど1年が経過いたしました。協会運営も本部事業、支部事業とも皆様のご協力により滞りなく進めることができました。厚く御礼申し上げます。

さて、我々特殊鋼流通のこの1年を振り返りますと、昨年夏以降、多少業種によるばらつきはございますが、売上の減少、利益の下落に歯止めがかかり秋以降わずかではあります上向きになって参りました。四半期ごとの景況アンケート調査でも第3四半期即ち昨年の10～12月では売上、利益共に増加が減少を上回り、また先行きに対する景気見通しについても「悪くなる」か

ら「変わらない」「良くなる」とマインド面でも明るさが見られるようになってまいりました。一方、今年に入りメーカーさんからの値戻しの声上がり、流通と致しましても販売価格の見直しをユーザーさんに真剣にお願いし、理解を求めているところであります。協会でもユーザーさんに向けて「鋼材購入に関する改定をお願い」文を発信し、ご理解を得ていこうとしています。

空洞化に伴う国内需要の減少から、今後売上の大きな伸びは期待できません。量から質への転換を図り、安易な価格競争は厳に慎み、コスト管理を認識の上、適

正利潤を確保できる販売に注力せねばなりません。協会と致しましても、今年度を初年度とする3年にわたる中期計画案を策定いたしました。特殊鋼流通に携わるものとして自信を持ち、活力ある特殊鋼業界となるよう諸事業を展開してゆく所存であります。どうか皆様方の引き続いてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

会員各社の事業のご繁栄と皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、総会開催の挨拶とさせていただきます。

講演会「中国 VS 日本」

— 中国の強みと日本の底力 —



総会後は、政策研究大学院教授・橋本久義氏による講演会「中国VS日本～中国の強みと日本の底力」を開催しました。

橋本久義氏は、通産省時代から「現場に近いところで行政を・学問を！」をモットーに、全国の中小企業の現場を訪れて技術者・経営者の意見を聞いてこられました。訪問した工場は2500以上という、行政・学界には珍しい現場主義者です。政策研究院では、発展途上国の産業発展、中小企業の活性化をメインテーマに研究に取り組み「日本の中小企業は世界最強」「中小企業は日本のまごころ、世界の宝」と説かれています。

当日は、国内の製造業の現状と中国のビジネス事情に精通された見識を踏まえて、特殊鋼流通に関わる者にとっても関心の高い、「中国と日本」をテーマにした卓見を披露していただきました。現場を知り尽くした橋本氏の、ユーモアを交えた軽妙な語り口に会場はしばしば笑い声も起こるほどの盛況な講演会でした。



コメント

「日本では、例え報われることが少なくても“夢とロマンと誇り”を持って懸命にやっている従業員そして経営者が山のようにいる。そんな国は世界中どこを探してもない。これこそが日本が世界に誇る最大の強みだ。」



政策研究大学院教授
橋本 久義氏

【略歴】

昭和44年 東京大学工学部精密機械工学科卒業。通産省入省。
昭和53～56年 西独デュッセルドルフにJETRO調査員として3年間駐在。その後機械情報局鑄鍛造品課長、中小企業技術課長、立地指導課長、総括研究開発官等を歴任。
平成6年 埼玉大学教授（政策科学研究科）
平成9年 政策研究大学院教授

著作『町工場が減れば日本が減る』（PHP研究所・2002年5月刊）『IT時代を切り拓く女性企業家達』（日刊工業新聞社2001年7月刊）など



懇談会



総会、講演会の後、ご来賓の経済産業省鉄鋼課・春日原大樹課長補佐よりご祝辞をいただき、僚友団体である(社)特殊鋼倶楽部副会長の近藤俊雄様による乾杯のご発声で、懇談会が開催され、全特協・熊谷多津旺副会長の中締めで盛況のうちに参会となりました。



ご来賓ごあいさつ



経済産業省製造産業局鉄鋼課
課長補佐 春日原 大樹 様

さまざまな困難な要素に面している特殊鋼業界だが、日本の特殊鋼には独自の力強さというものが歴然とある。今後も、「信念」そして「信頼」というものを持っていただき、緊張感ある形で産業の再生とさらなる発展に取り組んでいただきたいと願っている。

乾杯ご発声



(社)特殊鋼倶楽部
副会長 近藤 俊雄 様

日本の産業は、全般的に厳しい状況にあることに変わりありません。そんな中では、強い危機感を持ち、明確で具体的なビジョンを掲げて、「自助努力のうえに我が道を切り拓く」よう努めていかなくてはなりません。

中締め



(社)全日本特殊鋼流通協会
副会長 熊谷 多津旺

第7回定時総会も無事、皆様のご協力で終了することができ誠にありがとうございます。これからは一歩一歩着実に、決められた通り前進して行く所存でございますので、皆様方からの変わらぬ応援をお願いいたします。併せて、8年目を迎えた全特協の、正会員、賛助会員の皆様のご健勝を祈念いたしております。



各支部の総会

東京支部

6月22日（日）於：伊香保温泉「千明仁泉亭」

82社が出席し、次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

東京支部の総会は、新緑が鮮やかな群馬伊香保町の「千明仁泉亭」で開催した。従来は、都心のアークヒルズクラブで行っていたが、本年度は、趣向を変え都心を離れて、由緒あるいで湯の里、伊香保温泉に会場を移した。会場となった「千明仁泉亭」は創業500年の老舗、文豪「徳富蘆花」がこよなく愛した旅館として有名である。

本年1月の群馬国体の際に皇太子ご夫妻が宿泊された事でも知られている。

6月22日に、会員、報道関係の方々31名が参加して、午後5時から総会、熱心な討議のあと、懇談会に入り胸襟を開き、膝をまじえ、肩を叩きあって痛飲した。日頃の疲れを露天風呂で癒し、湯煙の中で明日からの仕事に向け心行くまで語り合った。

翌日は、大同特殊鋼（株）渋川工場の見学をした。宮地部長の挨拶の挨拶のあと、深谷工場長の工場概要に説明を聞き三班に別れて、特殊鋼の最先端をゆく、航空機部品や舶用の重要部品の製造工程をつぶさに見せていただき、キメの細かい管理体制、整然と管理された現場を目の当たりにして、参加者一同大いに感銘を受けた。



平成15年度新役員3名

（左から河野新人人材育成部会長、鴨山新内外交流部会



東京支部総会(千明仁泉亭にて)



参加者集合写真

大

6月13日（金）於：有馬温泉「兵衛 向陽閣」

101社が出席し、次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

大阪支部の総会は社団法人の組織になって、初めて1泊の総会を実施。場所は有馬兵衛・向陽閣。総会は小林副支部長の司会のもと、定刻午後5時に始まり、樋口支部長、続いて三上会長の挨拶のあと議事に入り、第1号議案～第5号議案まで滞りなく順調に承認され、5時50分に終了した。7時より賛助会員も参加し、42名の方が懇談会に出席。終始和やかな雰囲気のもと、8時30分に中締。その後場所を変えて、カラオケ等大いに盛り上がった懇談会であった。



樋口大阪支部長あいさつ



三上会長



あいさつに立つ川本名古屋支部長

6月18日（水）於：ホテル花水木（長島温泉）

正会員73社、賛助会員4社が出席。次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

名古屋支部では一昨年に続き2度目の宿泊総会となった。冒頭、川本支部長の挨拶の後、熊谷協会副会長より協会全般の動きについて報告があった。総会后、来賓の特殊鋼倶楽部名古屋支部・斎藤支部長の乾杯の音頭で懇談会に入った。

東北支部

6月13日（金）於：奥州秋保温泉 蘭亭

25名が出席し、次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

総会式次第の流れの中、各会員各位とも真剣なまなざしで議案報告に耳を傾けていた。全特協・福森専務理事より、協会の第7回定時総会について報告があり、平成15年度総会を終了した。



福森専務理事あいさつ

北関東支部

6月15日（日）於：伊香保温泉 ホテル木暮

28名が出席し、次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

協会の第7回定時総会について、全特協・福森専務理事の報告 / 及び特殊鋼メーカー4社との市況懇談会は非常に有意義であった。懇談会では、20年ほど前から恒例となっている、肩を組み合っの「知床旅情」の合唱となり、和気あいあいのうちに終了となった。



定時総会風景

〔(株)特殊鋼産業新聞社提供〕

静岡支部

6月13日（金）於：エクシブ琵琶湖

15名が出席し、次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

総会終了後、日立金属（株）加太幹久社長ならびに大同特殊鋼（株）名古屋販売部高宮伸氏による、最近の工具鋼の市況動向に関する講演を開催した。



山浦静岡支部長あいさつ



熊谷副会長あいさつ



参加者一同

〔写真3点 (株)特殊鋼産業新聞社提供〕

九州支部

6月6日（金）於：ホテルセントラーザ博多

20名が出席し、次の議案を審議、承認した。

平成14年度事業報告（案）・決算報告（案）の承認の件

平成15年度事業計画（案）・収支予算（案）の承認の件

三上会長に御出席いただき、魅力ある全特協づくりについて熱く語っていただいた。



懇談会であいさつに立つ三上会長



あいさつに立つ吉永九州支部長

平成14年度「特殊鋼販売技士1級」資格認定式



平成15年5月14日（水）、東京・鉄鋼会館において特殊鋼販売技士1級の資格認定式を開催しました。

今回の合格者は183名で、全特協の重点事業として推進している特殊鋼販売技士1級の有資格認定者は、累計で1823名となりました。平成14年度の本資格合格者数は別表の通りで、（株）マクスコーポレーション・折原光則さん（東京）、井上特殊鋼（株）・吉田宏之さん（大阪）、サハシ特殊鋼（株）・鈴木智靖さん（名古屋）、藤田商事（株）・藤田憲義さん（北関東）、ノボル鋼鉄（株）・伊藤健司さん（静岡）が各支部を代表して会長より資格認定書を授与され、（株）平井・石川幸喜さんが、認定者全員を代表して答辞を述べられました。

当日は、経済産業省製造産業局鉄鋼課から磯部隆課長補佐、藤川佳久係長がご来賓として出席されご祝辞を賜り、また、資格認定式後の祝賀懇談会では、熊谷多津旺副会長

が「資格取得に甘んじることなく、さらに新しい知識を身に付けていくよう心がけられ、新技術や新たな鋼種に活かされるよう期待します」とあいさつ。乾杯の後はなごやかな懇談が催されました。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課
課長補佐 鉄鋼製品・流通加工担当
磯部 隆 様

みなさま、本日の資格取得認定まことにおめでとうございます。

私ども鉄鋼課といたしましても、メーカーと流通が一体となっこそ鉄鋼界の健全な発展が可能になると考えております。ことに特殊鋼流通は、鉄鋼

の中でもその最先端に位置するわけですから、皆さま方におかれましては産業界を支えているという大いなる誇りを持って、今後ともさらなる高い知識と技術の習得に努め、業界をリードしていただきたいと思っております。



会長あいさつ



（社）全日本特殊鋼流通協会
会長 三上 聡彦

本日は、栄えある特殊鋼販売技士1級の資格取得、まことにおめでとうございます。合格者の皆さまにおかれましては、日常の会社の業務と並行しながらの受講と検定試験の終了、まことにご苦労なことだったと思っております。

なお、当協会の人材育成事業である特殊鋼販売技士および販売加工技士制度も、平成14年度を持ちまして、累計の有資格者数が1万人を突破いたしました。当協会の事業目標としては平成17年度までに累計1万3000人を目指しております。今後は、本資格で得られた知識を実務に活かし、会社への業績貢献、特殊鋼業界の発展に役立てていただくことはもとより、後に続く後輩の方々の模範となるよう、ご活躍をお祈り申し上げます。

講評

検定試験委員会委員長
西村 富隆 様



資格取得おめでとうございます。全受験者の平均点は78点でこれは例年並でしたが、5名の100点合格者の方には並々ならぬ敬意を表します。本日の合格者の方々は、特殊鋼業界をリードされる皆さまですから、今後も新しい知識の向上に努められるよう勉強を続けてください。

平成14年度 特殊鋼販売技士1級検定試験合格者数

支部名	受験者数	合格者数
東京	57	52
大阪	50	47
名古屋	54	50
北関東	25	22
静岡	13	12
合計	199	183

100点取得者 5名

[東京支部] (株)マクスコーポレーション 折原 光則氏 Aグループで受験
(株)平井 石川 幸喜氏 //
[大阪支部] カネヒラ鉄鋼(株) 富田 庸介氏 //
大同特殊鋼(株) 酒向 秀文氏 Cグループで受験
井上特殊鋼(株) 吉田 宏之氏 //
以上

平成14年度
特殊鋼販売技士
1級合格者名簿

東京支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
合格者25名

山本 達也 (株)マクスコーポレーション
折原 光則 (株)マクスコーポレーション
磯野 正俊 (株)マクスコーポレーション
合田 剣悟 (株)マクスコーポレーション
名児耶 孝 王子製鉄(株)
築比地 毅 王子製鉄(株)
中林 達也 王子製鉄(株)
南野 仁成 大同興業(株)
佐野 学 井上特殊鋼(株)
岩倉 敬子 大同特殊鋼(株)
神田 有子 大同特殊鋼(株)
井上 由香 大同特殊鋼(株)
斉藤賢一郎 大同特殊鋼(株)
今井 克哉 丸井鋼材(株)
杉木 要 (株)平井
吉岡 邦忠 (株)平井
石川 幸喜 (株)平井
佐藤 修 (株)平井
斉藤 悦弘 川鉄商事(株)
伊藤 基浩 浅井産業(株)
牧田 充浩 (株)シルド
北村 尚介 ウメトク(株)
奴田原幸司 大同特殊鋼(株)
羽田 浩二 大同特殊鋼(株)
野口 祐二 大同特殊鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
合格者11名

能見 健史 石原鋼鉄(株)
宮島 潤一 石原鋼鉄(株)
高津 佳一郎 大同特殊鋼(株)
宮崎 弘行 青山特殊鋼(株)
矢部 洋一 (株)マクスコーポレーション
吉原 正貴 (株)マクスコーポレーション
水野 剛志 (株)宏和商会
石井 康雅 ウッドホルム(株)
矢川 昭夫 小山鋼材(株)
川上 敦 ナチ鋼材(株)
児玉 宏一 中山商工(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)
合格者16名

木田 昌孝 アサヒスティール(株)
松本 尚己 (株)ブルーラス

上嶋 彰 大同特殊鋼(株)
古瀬 努 大同特殊鋼(株)
隅田 隆明 大同特殊鋼(株)
廣岡 信行 大同特殊鋼(株)
原島 浩樹 (株)UEX
河嶋 忍 野村鋼機(株)
嶋崎 泰志 大同興業(株)
剣持 泰生 (株)平井
野尻 隆史 秋山精鋼(株)
大芦 雅徳 斎藤鋼材(株)
石川 征孝 (株)シルド
遠藤 博幸 (株)シルド
原 崇人 (株)長谷川ハガネ店
山口 弥隆 三協鋼鐵(株)

大阪支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
合格者17名

奥川 勝由 愛知製鋼(株)
富田 庸介 カネヒラ鉄鋼(株)
森永 英徳 大同特殊鋼(株)
山田 浩之 アサヒスティール(株)
中村 誠治 アサヒスティール(株)
平井謙太郎 井上特殊鋼(株)
麻田 拓郎 井上特殊鋼(株)
森田美津穂 井上特殊鋼(株)
出山 明延 大洋商事(株)
津矢田尚明 大洋商事(株)
出田 秀樹 (株)天彦産業
仁村 周平 中川特殊鋼(株)
川平 香理 中川特殊鋼(株)
林田 彰司 林田特殊鋼材(株)
佐近 賢一 林田特殊鋼材(株)
井畑 保浩 (株)堀田ハガネ
山崎 利樹 山崎鋼鐵(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
合格者16名

東口庄一郎 大同アミスター(株)
久世 秀男 日立金属(株)
三神 光二 日立金属(株)
堀口 真伍 日立金属(株)
西坂 和彦 ウメトク(株)
長谷川 智 ウメトク(株)
村越 直樹 ウメトク(株)
坂本 未喜 ウメトク(株)
西村 和幸 ウメトク(株)
古塚 博行 ウメトク(株)
有田 隆行 小山鋼材(株)
佐々木 久 佐々木鋼業(株)
田中 栄次 三和特殊鋼(株)
金 雷 三和特殊鋼(株)
嶋崎 紀行 (株)竹内ハガネ商行
黒瀬 洋二 日栄鋼材(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)
合格者14名

中原 真一 愛知製鋼(株)
汐崎 弘和 カネヒラ鉄鋼(株)
富田 則子 大同特殊鋼(株)
八木 聡 大同特殊鋼(株)
内藤 浩樹 大同特殊鋼(株)
酒向 秀文 大同特殊鋼(株)
中島 展久 秋山精鋼(株)
吉田 宏之 井上特殊鋼(株)
松村 良 大和特殊鋼(株)
間沢 純一 大和特殊鋼(株)
高橋 利之 田島スチール(株)
田嶋 一雄 田島スチール(株)
吾妻 一義 (株)阪神メタリックス
小山 雅司 (株)堀田ハガネ

名古屋支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
合格者21名

石川 英二 (株)交邦磨棒鋼センター
荒木 隆政 (株)交邦磨棒鋼センター
水谷 俊幸 辰巳屋興業(株)
水野 隆基 (株)ハヤカワカンパニー
寺西 廣明 (株)ハヤカワカンパニー
浅野 美幸 (株)ハヤカワカンパニー
升井 隆 (株)平井
向 寿志 愛知製鋼(株)
廣岡 利修 愛知製鋼(株)
松井 達哉 愛知製鋼(株)
一廣 長史 大同興業(株)
磯谷 昌都 大同特殊鋼(株)
米倉 巧 大同特殊鋼(株)
吉田 裕彦 大同特殊鋼(株)
中澤 宣司 大同特殊鋼(株)
石丸陽一郎 大同特殊鋼(株)
石原 伸悟 大同特殊鋼(株)
北川 恵子 大同特殊鋼(株)
荻本 将勝 大同特殊鋼(株)
菊地 由吏 大同特殊鋼(株)
岡田 重隆 陽鋼物産(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
合格者19名

中村 剛 ウメトク(株)
中村 博之 川本鋼材(株)
三輪 利道 サハシ特殊鋼(株)
長谷川明紀 (株)竹内ハガネ商行
相馬 英俊 孟鋼鉄(株)
村越 信行 孟鋼鉄(株)
青木 義久 孟鋼鉄(株)
森口 慶一 中野ハガネ(株)
安井 雅人 名古屋特殊鋼(株)
山崎 太郎 名古屋特殊鋼(株)
後藤 善信 名古屋特殊鋼(株)
鈴木 民樹 (株)山一ハガネ
齋藤 淳一 (株)山一ハガネ
小栗 有志 (株)山一ハガネ
鈴木 純司 (株)山一ハガネ
大見 英貴 (株)山一ハガネ
戸向 孝 大同特殊鋼(株)
坂本 晴彦 (株)不二越
小粥 裕司 陽鋼物産(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)
合格者10名

山田 豊 秋山精鋼(株)
翠 教寛 黒田特殊鋼(株)
小森 淳一 佐久間特殊鋼(株)
寺本 佳弘 サハシ特殊鋼(株)

石原 照久 サハシ特殊鋼(株)
鈴木 智清 サハシ特殊鋼(株)
高島 伸 大同興業(株)
加藤 直樹 大同興業(株)
早川 豊大 大同興業(株)
間立 吉男 斎藤鋼材(株)

北関東支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
合格者8名

近藤 潤 井上特殊鋼(株)
羽土 光稔 井上特殊鋼(株)
薄井 正弘 (株)鐵鋼社
田山 靖雄 ニチメンスチール(株)
宮川 亮 ニチメンスチール(株)
藤田 憲義 藤田商事(株)
半田 知央 藤田商事(株)
中嶋 卓 (株)マクスコーポレーション

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
合格者14名

並木 直人 小山鋼材(株)
下野 悟 小山鋼材(株)
星野 住夫 興新特殊鋼(株)
真下 貴行 (株)鈴木機械
桜井 幸二 (株)鈴木機械
亀田 善行 (株)竹内ハガネ商行
岩城 勝洋 (株)竹内ハガネ商行
羽田 幸也 (株)竹内ハガネ商行
長瀬 勝彦 ナガセ鋼機(株)
長瀬 泰輝 ナガセ鋼機(株)
島田 浩明 (株)長谷川ハガネ店
山崎 和志 (株)長谷川ハガネ店
下山 聖 (株)マキノスチール
生田 英樹 (株)ワイエスエス

静岡支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)
合格者6名

杉浦 貴志 ノボル鋼鉄(株)
伊藤 健司 ノボル鋼鉄(株)
日高志乃ぶ ノボル鋼鉄(株)
鈴木 洋 ノボル鋼鉄(株)
吉田 光孝 井上特殊鋼(株)
藤田創一郎 井上特殊鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)
合格者6名

窪野 晃嗣 佐久間特殊鋼(株)
佐野 俊夫 ノボル鋼鉄(株)
望月 裕之 ノボル鋼鉄(株)
藤原 昌史 ノボル鋼鉄(株)
田中 道広 (株)サンコー
田崎 成行 (株)サンコー

突然おじゃま



三和特殊鋼（株）相談役 / 勝野政男

門真市は大阪府の北東部にあり、かつては河内蓮根の特産地として有名だったが、近年は農村地帯から産業都市へと移行、現在は東大阪工業地帯の重要な位置を占めている。この地は、現在の松下電器産業（株）の前身である「松下電気器具製作所」の本社や工場があって、世界的な大企業へと躍進した舞台としても知られている。

今回お邪魔した三和特殊鋼（株）は、90年開催の「花博」の会場になった鶴見緑地に程近い市南部に立地する、工具鋼を中心とした特殊鋼専門商社だ。その創業者である勝野政男氏を訪問してみた。

特殊鋼とともに半世紀を歩んで

韓国視察で考えさせられたこと

勝野政男氏は、昭和4年9月30日生まれの現在73歳。昭和22年に大阪特殊製鋼（昭和37年、山陽特殊製鋼に吸収合併）に入社。在職中に一念発起し夜間大学を卒業。その後、昭和34年に大阪特殊製鋼を退社し、大阪市南区で三和特殊鋼を創業。当初は、構造用鋼、工具鋼が営業品目だったが、93年に山陽特殊製鋼の工具鋼販売の大阪拠点となり、工具鋼センターを設立。以降、工具鋼、構造用鋼を中心とした営業を続けている。

現在の勝野政男氏は、社長業を子息の茂氏に引き継がれ相談役に就任。趣味の囲碁などを楽しみながら悠悠自適の身となっているが、これまでに関わられてきた特殊鋼業界や全特協についてお伺いしてみた。

昨年実施された韓国への視察研修（韓国特殊鋼流通事情視察研修 / 平成14年4月）にご参加されたとのことですが、実際にかの地を見聞されてどのような感想をもたれましたか。

勝野氏 まず、想像以上に発展しているという印象を受けました。別に韓国を見くびっていたわけじゃないんですが、ソウルやプサンといった大都市では近代的なビルが立ち並び、非常に立派で堂々たる先進国になっていた。私が戦時中、小中学校の頃大人から聞かされた現地の様子そのままだったものですから、どこか当時の印象で止ま

っていたんですね（笑）

よく、「高度成長期の日本のような賑わいと力強さがある」と言われますが、現在でもそうした隆盛さは感じられますか。

勝野氏 いや、私はまた別の印象を受けましたね。高度成長期のような「何がなんだか分からないけど景気が上向いて…」といった感じではないですね。もうすでに十分に安定しているといった感じで、社会や経済も非常に高いレベルにあるように思いました。実際、生産の場では韓国も賃金高になって、下請けの仕事は中国に出している。すでに空洞化の問題も起こっているようですよ。

そうすると、日本とは大きく変わらないうわけですね。特殊鋼流通の現場は、いかがでしたか。

勝野氏 韓国の流通業者の工場ヤードを見た限りでは、近代的な設備で非常に整備が行き届いていました。自国産の製品に関しても、日本製品とそう遜色はないようです。細かなところや、総合的な練度では日本にもまだ一日の長はあるでしょうが、韓国とは対等に学び合わなければいけない時代になっていますね。

組織的で開かれた協会活動に期待

これまで全特協に関わられて、昔と今との比較などでお感じになることはありますか。

勝野氏 私と全特協との関わりは、ほとんど大阪支部で終始していますし、今では引退の身ですから、あまり差し出がましいことは言えない（笑）

大阪は、狭い商圏に100社を超える同業が集まっている大所帯ですが、その割に昔から組合活動はあまり活発ではなかった。まあ、私もそうした世代なんですが、「商売大事、本業大事で行こう」という気質が大阪は比較的強いんですね。

そんな中で最近の大阪支部のブロック会議ですか、あれなんかは民主的で非常にいい試みではないかと思っています。支部をさらに細かく分けて、みんなが意見を言いやすくすることで、参加意識も高まり風通しも良くなるのではないかと思います。

樋口支部長はじめ現在の大阪支部の役員さんは、いいところに目をつけられて活動されていますね。

勝野氏 そうですね。ご苦労も多々おありでしょうが、がんばっていただきたいですね。そうした組織的で、民主的な活動が可能になってきたことで、これまでの親睦中心の活動から共同化メリットを活かした情報交換が可能になれば、協会としての存在意義はこれ以上なく高まるのではないですか。

共同化メリットといえば、配送や購入などの分野ですね。

勝野氏 そうですね。まあ、とはいえ各社独立した企業であるし、メーカー系列の

違いなどもあるから現実には難しい問題です。ただ、そうしたことへの第一歩を踏み出すことが肝心でしょうね。大阪支部としては、もっともそうしたことを踏まえての親睦が、協会活動の第一義であることは変わらないと思います。

シンプルながら奥深い囲碁の魅力

話題はぐっとくだけまして、ご趣味は囲碁とお伺いしたのですが。

勝野氏 ああ、26歳の頃から始めたものですが下手の横好きで（笑）。大阪支部では年1回、メーカーや商社の方を交えての囲碁大会もやっているんですよ。

皆さんお強いですか。

勝野氏 全特協では渡辺鋼材の社長がお強いですね。しかし、もっと強い人は、メーカーさんや商社の方に多いです。

囲碁の魅力とはどんなものなのでしょうか。

勝野氏 碁の規則はいたって簡単ですが、大変奥が深く面白いものです。白と黒のシンプルな陣取り合戦ですから、外国の人などにも人気が高く、それだけ普遍性が高いものだといえます。

最近、アニメのコミックの影響ですか、小学生などにも囲碁の人気が高くなっていますか。

勝野氏 碁は決められた時間の中で、「構想」と「読み」を競うゲームですから、強い集中力と冷静な判断力が養われるのではないのでしょうか。碁を夢中になってやっていると、そうしたことが自然に身に付くでしょうから、小さなお子さんが碁に打ち込むのは、テレビゲームばかりやっていたり、いやいや学習塾に通うよりもいいことかも知れません。

おひとりでも碁の手を練られたりもするんですか。

勝野氏 いやいや、最近はコンピュータやインターネットを使って対戦したりすることを覚えましてね。ひとりでも手軽にできるので面白く利用させてもらっていますよ（笑）。

昨今の景況について感じること

半世紀以上、この業界に関わられてお感じになることはありますか。

勝野氏 私などは、メーカーの営業から八ガネ商に転向した者ですから、業界の古今をうんぬんはできませんが、創業以来40何年か、「仕入先に迷惑かけないように」、そして問屋さんの助けがあったからこそ、ここまでポチポチやってこれたと感謝しています。

最近の景況についてお感じになることは、

勝野氏 私自身、こと特殊鋼の業界に限

っていえばそんなに悲観的には考えていません。自動車関連の仕事は堅調ですし、特殊鋼の生産自体は多少は増えているでしょう。

そんなに不況々々というほどの逼迫感を感じられないし。

勝野氏 特殊鋼業界に関してではですね。皆さん、切磋琢磨して手堅くやられているところが今残っているわけですし。ただ、不良債権の問題ね、これは気がかりですね。いつどこで連鎖的に火を噴くのか。不良債権への懸念は絶えずありますね。

どうも、本日はいろいろなお話をありがとうございました。



山陽特殊製鋼の工具鋼在庫販売の大阪拠点となっている大阪工具鋼センター



大阪府門真市の三和特殊鋼（株）社屋・倉庫

私の愉しみ

櫻井鋼鉄(株)取締役社長 / 久木田一成



日本の伝統芸能と親しむ日々

大阪気質を現す『曾根崎心中』

曾根崎や七つ鐘を六つに聞き
あかねに染むる比翼紋
浮名をお初徳兵衛が
心中沙汰とうたわせて
一足づつに消えてゆく
暁近き霜の身の果て

(曾根崎心中)

これは、元禄16年4月7日、大阪は曾根崎・露天神の森で起こった、高名な心中事件の、今まさに死に逝かんとする男女の情景である。添い遂げられぬと知った堂島新地の遊女・お初と醤油屋の手代・徳兵衛による心中事件は、事件早々に近松門左衛門の手になる脚本で人形浄瑠璃として上演され大当たりする。『曾根崎心中』は、大阪の情景と大阪人の人情を現す作品として、浄瑠璃や歌舞伎の世話狂言といった伝統芸能だけでなく、現在でも演歌、歌謡曲にまでそのエッセンスが受け継がれている名作である。

冒頭の一節は、小唄による名場面の再現で、浄瑠璃では「お初・徳兵衛」道行の場面にあたる。「この世の名残、夜も名残、死に行く身をたとふれば、あだしが原の道の霜、一足づつに消えて行く、夢の夢こそあはれなれ。あれ数ふれば暁の、七つの時が六つ鳴りて、残る一つが今生の、鐘の響きの聞き納め、寂滅為楽と響くなり」という、近松のなかでも名文中の名文といわれる箇所だ。

小唄とは、江戸末期に江戸端唄から

出た三味線唄のことで、長唄に対して1曲2～3分と短く、三味線もばちを使わずにしっとり爪弾きする。主に明治以降に、黒塚(料亭)内で当時の文人墨客などに好まれた俗謡で、歌舞伎や浄瑠璃などの名作を題材にしたり、明治末期から昭和前期にかけての新作も多い。小唄は短い楽曲に、遊廓の苦界に身をおく人や、人生の苦しみ、恋にまつわるやるせない思いを唄った歌曲が数多くあり、世界の楽曲と比較すれば、フランスのシャンソンやポルトガルのファドのようなものだともいえる。

冒頭の曾根崎心中は、片山派小唄の名取・片山歳成の名をもつ久木田一成氏の十八番で、お気に入りの理由は、やはり大阪を舞台とした人情と情景の名作だからだという。小唄、長唄などの音楽にとどまらず、歌舞伎などの観劇、寄席などの演芸などまで、さまざまな日本の伝統芸能に親しんできた久木田社長に、日本文化の魅力とはなにかをお聞きしてみた。

さまざまな芸能からの“良いとこ取り”が小唄の魅力

久木田社長は、昭和7年東京生まれの埼玉育ち。浦和高校から東京大学法学部を卒業後、大阪の積水化学に就職。その後縁あって現在の夫人とご結婚され、櫻井鋼鉄を引き継がれることになった。その縁というのも、実は同じ師匠の元で謡曲を学んだという同門の相弟子という関係だったというから、芸事が及ぼした人生への影響とは、さまざまに大きなものがある。

そもそも、久木田社長の生まれ育った生家でも、一家をあげて三味線や謡などの芸事に熱心で、歌舞伎文楽などの日本の伝統芸能にはごく幼少のころから自然に親しんできた。長じて高校生、大学生になってからも、新劇などの観劇から映画、東京の上野、浅草の各演芸場でのコント、漫談など高度成長期の大衆演芸にドブプリと浸かった日々を満喫した。

そうしたなかでも伝統芸能に関しては、小唄や長唄などの唄物を中心に、



小唄・片山派、「歳成」の名取である、久木田一成氏



十八番の「曾根崎心中」を唄う久木田一成氏

社会人となっところから本格的に学び始めた。なかでも小唄は、さまざまな名作を始めとする日本の古典芸能のエッセンスが短い楽曲にこめられていること。反面、その時代の風俗を映した新作も数多く存在する。また、短いがゆえに、学ぶことも演じることも、他の芸事から比べれば手軽なのが、小唄の魅力だと久木田社長は言う。

黒子一すじ、あやつり人形

「そなたは思い切る気でも
わしやなんぼうでも工切らぬ」
自由自在の手さばきも
もつれたままの縁の糸
恋の重荷かやつれし眉を
頭巾にかくす野崎村

(黒衣)

この唄も、久木田社長のお気に入りのひとつだ。唄の大意は、人形舞台の黒子になぞらえて“忍ぶ恋”を唄ったもので、題材は人形浄瑠璃『新版歌祭文・野崎村の段』から。油屋の丁稚・久松が主家の娘・お染と恋仲になり、最後には久松の許婚・おみつが尼になって身を引くという切ない恋の物語だ。おみつの久松を想うがゆえの切ない選択を黒子になぞらえ、“やつれし

眉を頭巾にかくす”と結ぶ秀逸な作品だ。

このように、小唄はお座敷での俗謡と思われがちだが、さまざまな古典芸能の教養を媒介にして、時代の気分や雰囲気も取り入れた、臨機応変、当意即妙な作りが可能な芸能でもあるのだ。

伝統的な大衆芸能から日本文化を考える

小唄を始め日本の伝統芸能を学ぶことで、久木田社長は日本文化そのものを考えることにも恵まれたという。座敷芸といえども日本の伝統文化という教養を身に付けなければ、唄の持つ意味も奥深さも分からないので、古典の注釈本を読んだり、芸能関連の資料を集めたり、時には東京・神田の古書街で古本を収集したりと、そうした知的な作業が含まれることも、古典芸能に関わる面白さだという。

世上よくいわれるように、日本語の乱れや外国文化との節操なき融合で、日本が本来もっていた美しい文化を再確認できたことは、舞台道楽、三味線道楽をやっていたことの賜物だと久木田社長は笑う。

現在、源氏物語や平家物語といった、文学での古典学習は学校で行なわれて

いるが、浄瑠璃や狂言といった日本語本来のリズミカルさや美しさをもった芸能も学校教育の動きが出てきたのは良いことではないかと久木田社長は言う。奇しくもこれは、かつて日本研究の第一人者だったドナルド・キーン氏が、「英国人がシェイクスピアを読むほどに、日本人は近松を読むべきだ」と言った言葉に符合するだろう。

関西に縁あって在住すること早40年以上となった久木田社長だが、伝統的な文化ということでは、京都・大阪を核にする関西は日本文化の集積地なので非常に楽しく過ごせる場所だという。文楽、浄瑠璃は上方が本場だし、歌舞伎も上方歌舞伎は味わい深いものがあるという。落語は江戸かも知れないが、上方の落語も洒脱で魅力は尽きない。漫才は、やはり大阪が本場で面白い。また、日々の暮らしやすさや人情面でも上方での暮らしがすっかりとなじんだという久木田社長。ただ、「蕎麦と鰻だけ。あれだけは関東のほうがよろしいですな」と口元をほころばせた。

理事会・委員会報告

第7回定時総会

平成15年6月2日（月）

東京・パレスホテル2階 チェリールーム

詳細は前述のとおり。

第19回理事会

平成15年5月14日（水）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

(1) 議案

次の議案について審議を行い承認した。

- 第1号議案 平成14年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）承認の件
- 第2号議案 中期計画（案）承認の件
- 第3号議案 平成15年度の年会費（案）承認の件
- 第4号議案 平成15年度事業計画書（案）及び収支予算（案）承認の件
- 第5号議案 新任理事選任の件
- 第6号議案 会員の入会承認の件
- 第7号議案 組織規程及び各種委員会規程の変更（案）並びに広報委員会規程の制定（案）承認の件

(2) 報告事項

第22回総務委員会

平成15年5月6日（火）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

第29回運営委員会の審議事項について審議を行い了承した。

(1) 審議事項

- 平成14年度事業報告・収支予算（案）について
- 中期計画（案）及び委員会体制（案）について
- 平成15年度の年会費（案）について
- 平成15年度事業計画・収支予算（案）について
- 新任理事の選任（案）について
- 会員の入会について
- 組織規程及び各種委員会規程の変更（案）並びに広報委員会規程の制定（案）について

第29回運営委員会

平成15年5月14日（水）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

(1) 審議事項

- 平成14年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について
- 中期計画（案）について
- 平成15年度の年会費（案）について
- 平成15年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
- 新任理事の選任（案）について
- 新任理事：桑野啓始 山陽特殊製鋼（株）常務取締役
- 辞任理事：梅井昭三 山陽特殊製鋼（株）顧問
- 会員の入会について
- 正会員として
- （株）徳島エンジニアリング
- （株）ケイ・エス・スチール
- 賛助会員として
- （株）メタル・ワン の入会を承認
- 組織規程及び 各種委員会規程の変更（案）並びに
- 広報委員会規程の制定（案）について

(2) 報告事項

特殊鋼販売技士検定試験委員会

(1) 特殊鋼販売技士検定試験委員会

平成15年4月14日（月）

東京・鉄鋼会館8階 803号会議室

特殊鋼販売技士1級合否判定

（平成15年3月27日に実施した検定試験の結果について審議した結果199名が受験し、183名が合格した。）

特殊鋼販売技士1級資格認定式

平成15年5月14日（水）

東京・鉄鋼会館8階 801号会議室

合格者183名の内、38名が出席した。協会関係者の他、経済産業省製造産業局鉄鋼課・磯部課長補佐、藤川係長が来賓として出席。詳細は前述のとおり。

特殊鋼販売技士検定試験委員会

(1) 特殊鋼販売技士検定試験委員会

平成15年5月26日（月）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

特殊鋼販売技士3級試験問題選定

（平成15年7月3日に実施される検定試験の問題の選定）

第4回青年部会正副部長会議

平成15年4月12日

東京・鉄鋼会館5階 (社)特殊鋼倶楽部会議室

平成15年度青年部会正副部長(案)について

- ・木村部会長の重任を了承した。
- ・名古屋支部選出の副部会長の交代を了承した。

新任：近藤 泰幸、出口 弘親

退任：浅野 薫仁、松岳 大樹

- ・大阪支部選出の副部長増員を了承した。

新任：古池 晃

平成15年度事業計画(案)について

青年部会ホームページの開設について

第4回青年部会運営委員会

平成15年6月2日(月)

東京・パレスホテル3階 3-A会議室

平成15年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
新役員人事について原案とおり承認した。

新入会員の紹介

・大阪支部：森 晋吾 豫州短板産業(株)

・東京支部：松下 伸夫 加藤鋼材(株)

ホームページ開設を承認した。

新入会員の紹介

会員の種類	会員名	代表者名	所在地	所属支部	入会年月日
正会員	(株)新洋 テクノネット	代表取締役 芦刈 茂	福岡県 太宰府市	九州	平成14年4月1日
正会員	(株)ユアーズ スチール	代表取締役 渡辺洋一	福岡県 北九州市	九州	平成14年4月1日
正会員	(株)ワイエスエス	代表取締役 和田史郎	群馬県 太田市	北関東	平成14年4月1日
正会員	(株)徳島エンジ ニアリング	代表取締役 秦 雅之	神奈川県 川崎市	東京	平成15年1月1日
正会員	(株)ケイ・エス・ス チール	代表取締役 岡田成生	福岡県 鞍手郡鞍手町	九州	平成15年4月1日
賛助会員	(株)メタル・ワン	代表取締役社長 水谷正史	東京都	東京 大阪 名古屋	平成15年1月6日

事務局だより

① 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

平成13年1月から当協会の運営についてご指導いただいております磯部隆課長補佐が平成15年6月1日付けで、産業技術環境局環境指導課に転出されました。新天地でのご活躍を祈念しております。
後任は、村田博顕（むらた ひろあき）氏（国土交通省土地・水資源局水資源部計画課から）です。

編集後記

前号の「すていーる」の発行から4ヶ月すぎっていますが、この移り変わりの激しい世の中で、この4ヶ月というのは長いのだろうか短いのだろうか。前号の発行は櫻の前でしたが、今はすでに梅雨前線と平行して台風がやたらと来る季節です。国外に目を転じると、イラク戦争が終わり、SARSがこれほどの問題になるとは誰も予想しなかったのではないかと思います。

業界を取り巻く環境も、金融関係・商社など大手企業の再編という大きな変化が待たなしで進んでいます。さて、全特協の関係では、6月2日開催された第7回定時総会において、平成15年度を初年度とする中期計画が承認されました。また、この計画を実施するための委員会も新体制

になり、その一環として、広報委員会が新設されました。

この広報委員会の審議事項は、(1)特殊鋼の流通に係る広報に関する事。 (2)特殊鋼の流通に係る展示会の開催に関する事。などです。今後、広報委員会の審議を通じて、「すていーる」をもっともっと充実したものにして参りたいと考えておりますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力を御願ひする次第です。

総務委員会委員長・広報誌発行責任者 / 福岡 富司